

資料1

第2期長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策事業の進捗状況一覧

基本目標 1 役割・しごとづくり (誰もが活躍できる役割・しごとをつくる)		数値目標	基準値 2019(令和元)年	実績値 2023(令和5)年	参考値 2024(令和6)年	目標値 2024(令和6)年	達成度	【達成度の凡例】 ◎…目標値≤実績値(R6) ○…基準値≤実績値(R6) △…実績値(R6)<基準値							
		地域で「たつせがある」と思う人の割合	33.4%	38.7%	27.7%	50.0%	○								
※参考値につきまして 令和6年度のアンケート調査においては、回答数が限られ有効な数値ではないことから、参考値として整理しております。															
基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	基準値	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	目標値 令和6年度	達成状況	令和6年度の活動結果			
ア 市民の力を活かした新しい役割分担の仕組みをつくる	1 ながくて地域スマイルポイント事業	市民活動参加のきっかけづくりのため、市民活動に参加した人に対してポイントを付与し、貯まったポイントを交換品に換えることができる事業を行う。	ながくて地域スマイルポイント交換者数【単年】	395 人 (H29)	454 人	435 人	518 人	559 人	618 人	550 人	◎	・市内福祉事業等におけるボランティア活動、市主催行事等への参加及び市民団体が自主的に実施する奉仕活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントを図書カード等に交換を行った。 ・令和4年度から対象年齢を18歳以上から小学生以上に拡大。18歳未満は39人(ポイント交換は9人)が登録。			
	2 まちづくり活動補助事業	市民が日常生活の中で気がついたことや地域の課題を、市と協働して解決する取組を応援する「まちづくり活動補助事業」を行う。	協働まちづくり活動補助団体【単年】	8 団体 (H30)	0 団体	4 団体	8 団体	6 団体	7 団体	10 団体	△	・7団体に対し補助を行った。 ・まちづくり協議会などの地域団体と協力して事業を進めることとしている。 ・学生が関わっている事業も多く、若い世代がまちづくりに関わるきっかけとなった。			
	3 まちづくりセンター機能強化事業	市民活動団体の活動拠点として、まちづくりセンターの運営体制を強化する。	まちづくりセンターの運営を考える会開催回数【単年】	— (H30)	1 回	1 回				10 回	—	まちづくりセンターの運営を考える会で検討し、まちセンター機能強化が市民活動団体の相談を受ける体制が整ったため令和3年度で完了。			
	4 学生まちづくり活動支援事業	市内4大学および周辺大学と連携し、大学の持つ知的財産や人材、学生の持つ若い力を生かすための仕組みづくりに取り組み、学生のまちづくり活動を支援する。	大学連携事業(継続事業)実施件数【単年】	25 件 (H29)	16 件	26 件	40 件	45 件	34 件	35 件	○	・各課で各大学等の特色を活かした事業を実施した。 ・市内大学生と国際交流協会が中心となり、長久手消防署や社会福祉協議会、安心安全課などが連携する防災イベントを開催した。 ・名古屋学芸大学と包括連携協定を締結した。			
イ 「農あるくらし」で好循環をつくる	5 アグリサポート振興事業 (旧:アグリサポート事業)	アグリサポート振興事業を導入し、農地のマッチング等、様々な人が行う農に関わる取組を応援します。	農地の貸し手と借り手のマッチング件数【単年】	— (H30)	—	—	—	5 件	31 件	5 件	◎	・外部にアグリサポート振興事業のうち農業機械業務、市民農園業務、営農相談業務、農機具貸出業務について委託を行った。 ・農機具等の貸出及び営農相談を開始し、周知等を行った。			
	6 農福連携事業	農業を活用した障がいのある人の雇用機会の拡大や、人手不足による耕作放棄地の有効活用のため、農福連携に取り組む。	農作業に携わった障がいのある人の人数【単年】	28 人 (H29)	38 人	53 人	58 人	72 人	61 人	31 人	◎	農福連携を行う事業所への研修等の情報提供や取組状況の情報収集を行った。農福連携に興味があるという事業者からの相談対応も行った。 課題としては、農作業に取り組む障がいのある人は増加傾向にあるが、事業者の田畠の管理体制は十分ではないため、これ以上増やすことは難しいと考える。			
	7 あぐりん村再整備事業	あぐりん村(田園バレー交流施設)の新たな魅力を創出するため、売り場の拡大や充実等の再整備を行う。	あぐりん村再整備施設数【単年】	— (H30)	1 施設					1 施設	◎	令和2年度にあぐりん村の増築棟の建築が完了した。 再整備事業が完了し、あぐりん村の利用者数、売上げ共に増加しており、市の農業振興につながっている。			
ウ 民間活力をまちづくりに活かす	8 住民起業支援塾事業	地域の課題を市民が主体となって解決するため、ビジネスの手法を活用し、仕事として報酬を得ながら事業を持続的に継続する「コミュニティビジネス」の起業に必要な知識を学ぶ講座を行う。	起業者数【累計】	7 人 (H30)	8 人					10 人	—	令和3年度より事業主体が商工会に移管されたため完了とした。			
	9 女性活躍推進事業	女性が活躍でき、男女がともに仕事と家庭の両立した生活を送ることができる環境づくりのため、理解促進・啓発事業を行う。	女性活躍推進に係る出前講座開催回数【単年】	— (H30)	1 回	3 回	2 回	2 回	5 回	3 回	◎	・育児等により離職した人の再就職を目指す女性を対象とした「ママ・ジョブあいち出張相談in長久手出張相談」を4回実施した。 ・再就職を目指す女性向けに「マザーズパソコン再就職セミナー」を1回実施した。			
	10 市民・民間・行政のプラットフォーム形成事業	市民、民間企業、行政で今後の連携のきっかけになるようなネットワークづくりを推進し、行政にはない市民や民間事業者の知見や活力、資源をまちづくりに生かし地域課題を解決する公民連携に取り組む。	市民・民間・行政のプラットフォームで取り組む地域課題数【累計】	— (H30)	0 つ	0 つ	0 つ	0 つ	0 つ	1 つ	○	・市民、民間、行政が立場を超えて出会い、対話を通じて、それぞれの知見やアイディアを交換し学び合う「リニモテラスミートアップ」を7月から毎月1回開催した。 ・4月に設立した一般社団法人エコシステム社会機構(ESA)に行政会員として加入し、加入団体と地域課題の共有を行った。また、令和7年3月に包括連携協定を締結した。			

基本目標 2 子育て支援 (子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる)	数値目標	基準値 2012(平成24)年	実績値 2022(令和4)年	参考値 2024(令和6)年	目標値 2024(令和6)年	達成度
	合計特殊出生率	1.55	1.64	-	1.6	◎
	数値目標	基準値 2019(令和元)年	実績値 2023(令和5)年	参考値 2024(令和6)年	目標値 2024(令和6)年	達成度
	安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思う人の割合	58.8%	71.3%	78.7%	65.0%	◎

【達成度の凡例】  
 ◎…目標値≤実績値(R6)  
 ○…基準値≤実績値(R6)  
 △…実績値(R6)<基準値

※参考値につきまして

令和6年度のアンケート調査においては、回答数が限られ有効な数値ではないことから、参考値として整理しております。

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	基準値	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	目標値 令和6年度	達成状況	令和6年度の活動結果
ア 子育てしやすい環境の整備	11 子ども預かり事業	市の子育て支援センター事業として、高齢者生きがいセンター1階作業室を改修し、「子どもの預かり室 こどりルームひっぴ」を設立。保護者の就労形態や生活スタイルが多様化するなか、子育てできる環境を整備するため、子ども預かり事業を実施。	子ども預かり事業延べ利用者数 【単年】	— (H30)	696 人	1,591 人	1,703 人	1,603 人	1,619 人	1,200 人	◎	子育て中の保護者を対象に医療機関・健診の受診や短時間の就労及び買い物等の間、育児から離れる時間を確保することを目的とし、子どもの預かりを行った。
	12 女性活躍推進事業(再掲)	女性が活躍でき、男女がともに仕事と家庭の両立した生活を送ることができる環境づくりのため、理解促進・啓発事業を行う。	女性活躍推進に係る出前講座開催回数【単年】	— (H30)	1 回	3 回	2 回	2 回	5 回	3 回	◎	・育児等により離職した人の再就職を目指す女性を対象とした「ママ・ジョブあいち出張相談in長久手市出張相談」を4回実施した。 ・再就職を目指す女性向けに「マザーズパソコン再就職セミナー」を1回実施した。
	★R5年度追加事業 13 公立保育園ICT化推進事業	保護者の利便性向上や保育士の負担軽減を目的に、連絡帳、行事予定やお便りの配信等の様々なコミュニケーションを電子化する等、保育園のICT化推進のためのシステムを導入する。	システムの導入	— (R5)	—	—	—	導入	— (R5目標値)	◎	(R6運用開始) ・ICTシステムの運用を開始した。 ・定期的に公営保育園の保育士とICTシステムの運用について会議を行い、保育運営に合わせた運用の改善をした。 ・システム利用者(保育士及び保護者)に対するアンケート調査。	
	★R5年度追加事業 14 公園施設等改修事業	都市公園や児童遊園等の経年劣化した遊具、設備などの施設修繕や更新等を行う。	遊具等の施設取替え件数	— (R5)	—	—	—	—	17 件	3 件	◎	令和6年4月の寄附を受けて、はなみずき広場の噴水のポンプ更新を実施する方針となった。 第3回定例会の補正予算に計上し、可決された。
	★R5年度追加事業 15 子ども読書環境充実事業	子どもの読書活動の推進を目的に、保育園や児童館、地域共生ステーション等に本の貸出しを行っており、子どもの身近に本がある読書環境の整備・充実に努める。	児童図書の購入数【単年】	— (R5)	—	—	—	—	600 冊	150 冊	◎	中央図書館連携事業用の児童書を購入するため、選書を行った。
イ 地域で支え合う子育て支援	16 保育園児童館等地域交流事業	若者から高齢者までの幅広い世代の地域住民が保育園や児童館等の環境整備や行事にボランティアとして関わることで、子どもたちとの交流を推進する。	保育園児童館等地域交流事業登録者数【単年】	110 人 (H29)	121 人	127 人	131 人	127 人	145 人	160 人	○	園児のお散歩に同行していただいているおたすけたいの方の中には、5年以上継続している方もおり、保育士が安心して園児の見守りに加わっていただいている。 保育園や児童館によって登録者数に差があるため、引き続き周知を図る。 市民に対し保育園のおたすけ隊へ登録の声かけをしているが、想定よりも登録者数が増えなかった。
	17 子どもチャレンジ事業	子どもが抱いた「夢」や「学習」等に対して、子ども自ら課題を見つけ、達成する過程で主体性を育成する取組を行う。	子どもチャレンジ事業取組人数【単年】	— (H30)	未実施	未実施	4 人	5 人	65 人	20 人	◎	令和6年度は実施方法を変更し、こどもがつくるまち実行委員会(任意団体)による、「こどもがつくるまち」を開催し、参加したこどもひとりひとりのやってみたいという気持ちを尊重する企画を行った。

基本目標 3 地域コミュニティ・地域福祉 (地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる)	数値目標	基準値 2019(令和元)年	実績値 2023(令和5)年	参考値 2024(令和6)年	目標値 2024(令和6)年	達成度	【達成度の凡例】 ◎…目標値≤実績値(R6) ○…基準値≤実績値(R6) △…実績値(R6)<基準値
	地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	18.9%	12.6%	6.4%	35.0%	△	
	数値目標	基準値 2015(平成27)年	実績値 2020(令和2)年	参考値 2024(令和6)年	目標値 2024(令和6)年	達成度	
	健康寿命	男性 80.2歳 女性 85.0歳	男性 82.8歳 女性 86.2歳	-	延伸	◎	

※参考値につきまして

令和6年度のアンケート調査においては、回答数が限られ有効な数値ではないことから、参考値として整理しております。

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	基準値	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	目標値 令和6年度	達成状況	令和6年度の活動結果
ア 市民が支え合う コミュニティをつく る	18 まちづくり協議会設立運営支援事業	自治会をはじめ、子ども会やシニアクラブ、企業、機能別のNPO、各種活動団体等の団体をネットワーク化したまちづくり協議会を北小学校区に設立し、設立準備会を南小学校区に設立することを目指します。また、長久手小学校区、東小学校区についても、まちづくり協議会設立に向けての支援を行う。	まちづくり協議会設置数【累計】	2 団体 (H30)	2 团体	2 团体	2 团体	2 团体	3 団体	3 団体	◎	・令和6年9月29日に総会が開催され、北小学校区まちづくり協議会が設立された。 ・南小学校まちづくり協議会設立発起人会が地域の有志により立ち上がり、月に1回の会議を実施している。
	19 多文化共生社会事業	外国人市民のニーズや国際情勢、本市における多文化共生の実態を把握し、外国人市民が地域の一員として活躍・生活することができるよう、多文化共生の地域づくりや国際交流意識の醸成に取り組む。	多文化共生促進事業実施回数【単年】	— (H30)	0 回	7 回	7 回	5 回	7 回	7 回	◎	・長久手市多文化共生推進会議(有識者会議、2回開催、延べ10人出席)、長久手市多文化共生推進連絡会議(庁内会議・やさしい日本語講座1回、20人出席)、新規採用職員向けやさしい日本語講座(1回開催、延べ20人出席) ・児童生徒日本語教育支援事業の実施、プレスクールの試験的実施を行った。 ・また、名古屋外国语大学の留学生向け授業で「外国人にも分かりやすい情報の伝え方を考える」をテーマに情報発信方法を考えた。
	20 国際交流協会支援事業	多文化共生の地域づくりや国際理解・交流の促進に取り組むため、長久手市国際交流協会への支援と連携を行う。	国際交流協会が実施する多文化共生推進事業への参加者数【単年】	2,850 人 (H29)	967 人	4,145 人	6,198 人	7,830 人	5,924 人	3,000 人	◎	・姉妹都市交流事業として8月にワーテルロー市へ訪問団を派遣した。 ・日本語教育や多文化共生推進の機会として、国際交流フェスタ、防災サバイバルフェス、留学生交流会、くーてトーカー、日本語教育支援、外国人相談、英語日本読み聞かせ、ホームステイ、HP運営、情報誌発行等を行った。
	21 防災土育成事業	地域防災を担う人材育成のため、防災士資格取得費用の助成を行うことで資格取得を促進する。	防災士資格取得の助成件数【単年】	3 件 (H30)	3 件	1 件	1 件	5 件	4 件	15 件	○	・市広報紙、市ホームページ及びチラシの窓口配布等による制度の周知を行い、防災士助成を4人に実施した。
	22 自主防災活動支援事業	地域の自主防災活動の活性化のため、自主防災組織が開催する防災講習会や防災資機材の貸与等の活動支援を行う。	自主防災倉庫設置数【累計】	54 地区 (H30)	57 地区	57 地区	57 地区	59 地区	59 地区	59 地区	◎	・地域住民の主催により実施される自主防災講習会について、28回実施し、約500人が参加した。
イ 市民の健康寿命を延ばす	23 公共交通ネットワーク構築事業	長久手市地域公共交通会議を開催し、交通事業者、行政、市民が連携しながら、地域公共交通の確保・維持及び活性化を図り、地域にふさわしい公共交通の構築を行う。	市内公共交通の利用者数【単年】	5,194 人 (H29)	2,337 千人	3,912 千人	4,615 千人	5,196 千人	5,478 千人	5,455 千人	◎	・令和6年9月に公共交通機関の認知拡大・利用促進のため、「のりものカード」を作成した。

基本目標 4 観光交流 (地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる)	数値目標	基準値 2018(平成30)年	実績値 2024(令和6)年	参考値 2024(令和6)年	目標値 2024(令和6)年	達成度
	観光交流者数	約340万人	約437万人	-	約370万人	◎
	数値目標	基準値 2019(令和元)年	実績値 2023(令和5)年	参考値 2024(令和6)年	目標値 2024(令和6)年	達成度
	地域における自慢すべき「宝」があると思う人の割合	42.7%	36.5%	36.2%	50.0%	△

【達成度の凡例】  
 ◎..目標値≤実績値(R6)  
 ○..基準値≤実績値(R6)  
 △..実績値(R6)<基準値

※参考値につきまして

令和6年度のアンケート調査においては、回答数が限られ有効な数値ではないことから、参考値として整理しております。

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	基準値	実績値 令和2年度	実績値 令和3年度	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	目標値 令和6年度	達成率 令和6年度	令和6年度の活動結果
ア 地域資源を活かした長久手の魅力とオリジナリティを創造・発信する	24 観光交流協会支援事業	長久手市観光交流協会が行う、観光PRやイベント実施、交流の場の創出、新たな地域資源の発掘等、長久手市ならではの魅力的な観光交流まちづくりの実現のために必要な事業を支援する。	観光交流協会新規事業の実施件数【累計】	0 件 (H30)	3 件	7 件	13 件	15 件	15 件	14 件	◎	・情報発信担当職員を配置し、公式Instagramでの情報発信、「ぐるっと長久手チトリップマップ」を発行しジブリパークとのオフィシャルパートナーホテルへ配付するなど、市内周遊・観光消費を喚起する取組みを行っている。 ・観光ビジネスを行っている事業者や若手の市内事業者が役員(理事・監事)へ就任し、新たな組織体制を構築し、組織の活性化を図っている。
	25 アートのまちフェスティバル事業	文化の家をはじめとする各施設、ギャラリー等市内全域で行われるアートの祭典を、市民やアーティスト・大学等とのパートナーシップで運営する。	アートフェスティバル来場者数【単年】	17,500 人 (H30)	475 人	10,344 人	1,922 人	15,000 人	15,000 人	18,000 人	△	・ながくてアートフェスティバルは、隔年開催であり、令和6年度は実施しない年である。次年度以降のながくてアートフェスティバル実施のための準備を行った。
	26 長久手版プレーパーク整備事業	子どもが用意されたプログラムの中で体験活動をするのではなく、子ども自身の意思と自由な発想のもとで遊ぶことができる里山を整備する。	長久手版プレーパーク整備箇所数【累計】	— (H30)	0 箇所	1 箇所	—	・市民団体が、プレーパークの試行を5/6、9/23、1/13、2/11の4回、平成ごども塾にて実施した。 ・9/28に大垣公園プレーパーク(岐阜県大垣市)を見学した。				
	27 歴史民俗体験施設整備事業 (旧:古民家活用事業)	江戸時代後期の建築とされ、市内に現存する最古の古民家について、この地域のくらしや歴史文化を後世に伝えるため、歴史民俗体験施設として、古戦場公園に整備する。	復元する古民家の棟数【累計】	— (H30)	0 棟	0 棟	0 棟	0 棟	0 棟	1 棟	○	・令和6年6月に教育委員会から文化財保護審議会へ諮問し、令和6年7、8月に文化財保護審議会で審議し、教育委員会へ、古民家の保護及び活用方法について答申された。 ・令和6年9月開催の定例教育委員会で、古民家の移築事業を進めていく取扱方針が決定承認された。 ・古民家等解体工事を実施し、古民家の部材を古戦場公園に搬出した。
	28 ★R5年度追加事業 ジブリパーク関連事業	ジブリパークへの親しみや誇りを持ってもらうと共に歓迎する機運をたかめるためにPR事業を行う。	ジブリパーク関連事業に関するPR事業実施数	— (R5)	—	—	—	6 回	7 回	1 回	◎	・ジブリ映画上映会の開催 ・連続照明にPR バナー設置 ・高速道路橋梁に横断幕設置 ・親子健康手帳への活用 ・デザインマンホールの設置 ・長久手市魅力発信PR動画の作成 ・二十歳の集いの実施
イ 人が集まり情報の受発信が行われる交流の場の創造	29 リニモテラス公益施設管理事業 (旧:リニモテラスにぎわい創出事業)	令和3年にオープンしたリニモテラス公益施設において、指定管理者制度による新たな管理者と市民活動団体が、公民連携による適切な管理運営を行うことで、新たなつながりと賑わいを創出する。	リニモテラス公益施設来館者数【単年】	— (H30)	—	—	36,408 人	40,687 人	49,758 人	60,000 人	○	・令和6年度より、リニモテラス公益施設及び長久手中央2号公園を新たな指定管理者により一體的に管理運営を行っている。 ・現在、新たな指定管理者により、両施設を一體的に活用することで継続的かつ能動的な市民活動の連鎖が生まれるような運営を行い、活動的な市民を取り込む「リニモテラスMT」、「サポーター制度」を行っている。